作業療法学専攻ニュース

４月号（1）

作業療法学専攻、１期生が学外実習に出かけます

平成 28 年４月より、第一期生が、いよいよ学外実習に出かけます。この実習は大学を離れて広島県内・外の病院・施設での実践的な実習です。そのため、大学では、春休み期間を利用し、補習を行っています。

学外実習は、現場の作業療法士の監督の下、身体（からだ）や心に病（やまい）を持つ患者様にもご協力いただき、身体や心の状態を検査・評価し、作業療法を行う貴重な機会です。

そのため、春休みを返上し、学生自らグループ・ワークで今までの復習を行い、時には教員が補習という形で講義を行うなど、実習に備えてきました。

学外実習で大学では学べない、色々な体験をしてきてくださいね。

学生たちで準備しています。

学生同士で実技の練習もしています。

これは、感覚検査キットです。患者様の感覚を検査するためのセットです。実習でも一部、使用することがあるので、学生たちがそれぞれ練習しています。